

若浜の子ども



令和元年 7月19日 第3号

子ども時代に大切にしたいこと



7月10日の「いのちの日」の校長講話は、動力付き有人飛行機で人類初の飛行に成功したライト兄弟を取り上げました。

ライト兄弟の兄ウィルバーは1867年生まれ、弟オーヴィルは1871年生まれです。この兄弟の子ども時分に好きだったことは、こわ

れた物の修理、がらくたをつかったものづくり、竹とんぼのようなヘリコプターのおもちゃ、コマ回し、たこあげでした。特にがらくたを使ったもの作りは、お母さん公認で、わざわざそのために一部屋使わせたほどです。がらくたを集めてくるのですから、普通のお母さんなら眉をしかめたかもしれませんが、さすがライト兄弟のお母さんです。

ライト兄弟の成功には、なるほどなあと感心する点があります。

- **研究のための費用は、自転車を作って販売して貯めた。**
- **大学に行っていないが、教授に手紙を書いたりして文献研究に力を入れた。**
- **風洞実験装置を発明し、揚力についての実験データを蓄積した。**
- **失敗の原因をつきとめてねばり強く改良を重ねた。**
- **子どものときの「飛行機への夢」を最後まで追い続けた。**

ライト兄弟の成功を支えたのは、**子どものころから好きだった機械いじりで培われたエンジニア魂**だ
ったと思います。研究費用を捻出するために中古自転車を修理して販売することができたのも、
機械いじりが好きだったからでしょう。

子ども時代には、大人が理解に苦しむようなことに、こだわりをもって取り組むことが時々あります。ライト兄弟のように、がらくたいじりに夢中になる子、やたらと生き物をつかまえてくる子、秘密基地づくりに夢中になる子、新しい遊びや技を作り出す子……。大人の物差しではあまり価値がなさそうなことでも、後にその経験が生きてくることがあることを、自分の経験から納得できる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

もうすぐ夏休みです。以前よりも短くなったとは言え、普段できないことに挑戦する機会であることには変わりありません。いろいろな体験を休み明けに聞かせてもらえたらと楽しみにしています。

校長も作ってみました

ライト兄弟の話を盛り上げるために、ゴム動力の模型飛行機を2機作ってみました。はじめは1機だけの予定でしたが、小さかったこともあり、飛びっぷりがいまいちだったのでワンサイズ上の物をもう1機作りしました。

私の小学生時代は、プラモデルや模型飛行機、ラジコンが全盛の時代だったので、模型店が酒田にも2軒あったのですが、今や庄内地方では、鶴岡に1軒あるのみで寂しい限りです。今回作った飛行機の1機目はその鶴岡の模型店で購入し、あとから作ったもう1機はインターネットで購入しました。

何しろ40数年ぶりの模型飛行機作りだったのでうまくいくか心配でしたが、何とか完成し全校朝会でライト兄弟の話のあとに飛ばしたところ、ゴム動力の模型飛行機を初めて見た子も多かったせいか、予想以上に歓声が上がりました。

ゴム動力の模型飛行機といえども、うまく作れば30秒くらいは滑空します。(私のは10秒くらいですが。)子ども達にも勧めたいのですが、準備物のニッパーもセメダインも知らない今の子ども達にとって難易度は高いだろうと思います。もし作らせるとすれば、2~3機くらいは失敗する覚悟で作らせるか、大人が竹ひごを切ってやったり、ニューム管(アルミの細いパイプ)を曲げてやったりすれば、1機目からある程度は飛ぶ飛行機ができると思います。完成されたお



もちゃにはない、調整や失敗があることから、うまく飛んだときの喜びもひとしおです。創意工夫はありませんが、完成させるまでねばり強く取り組む姿勢は育つのではないのでしょうか。

通知表配付の期間昇降口に展示しておきます。興味を持たれた方は、お子さんに挑戦させてみてはいかがでしょうか。

赤ちゃんってかわいいね



7月9日（火）～10日（水）の2日にわたって5年生を対象に「赤ちゃん登校日」が開催されました。

未来のお母さん候補の女子はもちろんですが、男子も赤ちゃんを一生懸命あやしたり、お母さん達に子育ての大変さを質問したりしました。子ども達の柔らかな笑顔がとても印象的な授業でした。

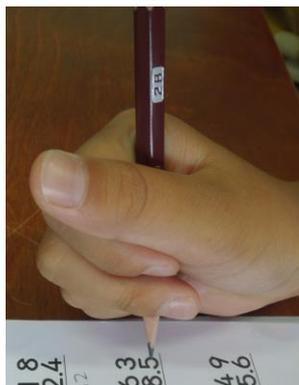
夏休みにがんばらせたい基本のキ



教室を回っていて「これは何とかできないか?」「いや無理か?」と自問自答しながら、子どもに声をかけているのが、**お箸と鉛筆の持ち方**です。お箸と鉛筆の持ち方を比べると、鉛筆の持ち方のほうが、深刻です。本人はあまり困っていないようですが、きれいな字を書きにくくしている原因が鉛筆の持ち方にあります。幼少期の指先の力のない時期に、げんこつに近い握り方をして、それが癖になっている子もいます。この握り方だとどうしても鉛筆が垂直になり、書いている文字がかくれてしま

います。その結果、整った大きさに書くことが難しくなります。持ち方を矯正すると、最初は力の加減が難しく、鉛筆をコントロールすることが難しくなります。（自分もそうでした。）毛筆では割とうまく書けるのに、鉛筆では上手に書けないという子の多くは鉛筆の持ち方に原因があります。

お箸と鉛筆の持ち方は似ているので、お箸を正しく持てる子は鉛筆も正しく持てるはずです。もし直すべき持ち方をしているようでしたら夏休みがチャンスです。がんばらせてみませんか。



安全な夏休みに



夏休みを前に、**若浜学区の交通事故**はどのくらいあるのだろうと
思い、酒田警察署に問い合わせたところ、以下の通りでした。

<平成29年からの若浜学区の人身事故> この数字を聞いて、予想以上に学区内で事故が

年	件数
平成29年	29件
平成30年	23件
令和元年（5月末まで）	7件

発生していることに驚きました。考えてみれば学校周辺
も見通しの悪い交差点が多いため、カーブミラーがそこ
かしこに設置されています。

また、交通安全課の方の話では、自転車事故で多いの
も、交差点での出会い頭の事故だということでした。加

(酒田警察署調べ)
えてお話しされたのは、横断歩道を渡っているときの事故です。横断歩道だからと安心して渡り
始めたところで、ドライバーの不注意による接触事故が発生することもあるので、交差点では安
全確認をしっかりするよう伝えてくださいとのことでした。子ども同士で時間を過ごすことが多
い夏休み。くれぐれも交通事故に遭わないように、ご家庭でもご指導お願いします。

若っ子の活躍



酒田市市民体育祭 7月7日（日）（順位は出場した組での順位）

- 4年男子100M 第1位 鈴木瑛士 第3位 加藤絢翔
- 4年女子100M 第3位 佐藤千波菜
- 5年男子100M 第1位 加賀屋壺成 第2位 加藤征斗 第3位 小座間大翔
- 5年女子100M 第3位 佐々木碧唯
- 6年男子100M 第2位 高力直人 第2位 今野琉志
- 6年女子100M 第2位 鈴木碧
- 男子400Mリレー 第1位 6年荒生僚介、高力直人、佐藤緋那太、今野琉志
- 女子400Mリレー 第3位 6年五十嵐愛良、鈴木碧、佐藤碧海、伊東いちご
- 男女混合ジャンボボール運びリレー 第3位 ○小学生男女混合綱引き 第2位

第35回山形県小学生陸上競技大会 7月15日（月）

- 女子走り高跳び 第1位 6年 佐藤碧海 1m25 東日本大会（8/17 函館）へ出場

第1回仙台七夕カップバレーボール交流大会 7月14日（日）

- 第二部 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団

第47回酒田市スポーツ少年団本部サッカー大会 7月13日（土）14日（日）

- 第3位 若浜サッカースポーツ少年団

